

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスほーぶる佐倉教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月9日 ～ 2026年3月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2026年3月9日 ～ 2026年3月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月2日 ～ 2026年3月20日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7校	(回答数) 4校
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校での困り感について情報共有を行い、その内容を療育支援に適切に反映していく。 学校での様子を踏まえることで、利用者がより安心して過ごせるよう、支援方法の調整や環境づくりに努めている。	学校での困り感を共有し、事業所での様子と照らし合わせながら、必要なスキルをスモールステップで練習できるよう支援内容を調整し、一貫したサポートが行えるよう意識して取り組んでいる。	学校での困り感を共有し、事業所での様子と照らし合わせながら必要なスキルを段階的に練習できる環境づくりを進め、学校・家庭との連携をより強化して一貫した支援につなげていきたい。
2	訪問時だけでなく、日頃から継続的に利用者の様子を共有し、支援に反映できるよう努めている。	訪問時だけでなく日頃から利用者の様子を継続的に共有できるよう、学校・家庭との連絡をこまめに行い、得られた情報を支援内容の見直しや環境調整に生かすことを意識している。	学校・家庭との情報共有をより密にし、具体的な場面や変化をこまめに把握しながら支援内容の見直しや環境調整につなげられるよう、継続的な連携体制を強化していきたい。
3	学校での様子を報告書としてご家族へ共有することで、日々の状況が把握でき安心につながっている。	日頃から学校・家庭との連絡をこまめに行い、利用者の小さな変化や気づきを共有して支援内容の見直しや環境調整に生かせるよう意識して取り組んでいる。	学校での様子をより具体的かつ分かりやすく報告書にまとめ、ご家族が日々の変化や成長を把握しやすいよう情報の質と共有の頻度を高めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校によっては連絡が取りづらい場合があり、情報共有に時間を要することがある。	連絡が取りづらい学校に対しては、事前にごちからから訪問の意向を伝えて何うことで、学校側の状況に合わせながら円滑に情報共有ができるよう工夫している。	学校側の負担にならない連絡手段や共有方法を検討し、継続的に情報を受け取りやすい関係づくりを進めることで、より円滑な連携につなげていきたい。
2	学校・保護者・事業所の間で支援に対する認識がずれてしまうことがあり、共通理解の形成に時間を要する場合がある。	本人・学校・保護者・事業所の認識がずれないよう、必要時、三者が同じ情報を共有できる担当者会議を設け、支援方針をそろえる工夫をしている。	学校側の多忙さを理解したうえで、三者の意識の方向性をできる限りそろえられるよう、丁寧な連携と情報共有に努めていく。
3	周囲のお子さんへの刺激となってしまう可能性も踏まえ、関わり方や環境設定に配慮している。	周囲のお子さんへの刺激となる可能性を踏まえ、関わり方や活動内容を調整しながら、落ち着いた過ごせる環境づくりに努めている。	周囲のお子さんへの刺激を最小限にできるよう環境調整を進めつつ、学校側の考え方や方針にも沿えるよう丁寧に意見を伺いながら、より一貫した支援につなげていきたい。